

平成29年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科開講型)		研究科名	情報学研究科		カテゴリー	情報活用・計算科学 科目群		横断区分	文理横断型	
授業科目名 (英訳)	医療情報学 (Medical Informatics)			講義担当者 所属・職名・ 氏名	医学部附属病院 教授・黒田知宏			開講場所	総合研究8号館 講義室3		
配当学年	修士	単位数	2単位	開講年度・開講期	後期	曜時限	水4限 (14:45-16:15)	授業形態	講義	使用言語	日本語
〔授業の概要・目的〕											
医療分野における、情報技術の効用と、具体的応用の現状や最近の話題を講じる。 本講義を通じて、医療を一つの対象として、情報革命が社会をどのように変えようとしているのかについて理解を深め、社会情報学的視点でのものの考え方を身につけることを目指す。											
【研究科横断型教育の概要・目的】											
医療は社会制度の根幹をなす。各国の医療制度のあり方は社会の有り様に関する考え方を直接的に反映し、社会全体の有り様に対する広い視点無くしては理解できない。情報革命を経て生活環境のあらゆる事項が情報化される中で、医療制度の有り様も、大きな転換点を迎えている。本講義では、このように変革の只中にある医療情報分野を対象として、講義を行うことで、技術が社会をどのように変えていくのかをつぶさに観察し、社会や技術の有り様を、社会科学と自然科学を跨がった広い視点から俯瞰して考える力を養うことを目指す。											
〔到達目標〕											
本講義の履修を通じて、技術が社会をどのように変えていくのかをつぶさに観察し、社会や技術の有り様を、社会科学と自然科学を跨がった広い視点から俯瞰して考える力を養い、新しい技術を大胆に取り入れながら連続性を持って変革していく社会や企業体などを導くことが出来る力を身につけることを目指す。											
〔授業計画と内容〕											
本講義では、大きく以下の4項目について講じる。											
1. 医療情報学の基礎 (5回): 病院情報システム(HIS)を中心に、本邦の各種医療制度と歴史の中でどのような情報システムが作られてきたかを講じる。											
2. 医療情報の地域医療への適用 (3回): どのような情報システムが地域連携医療に適用され、どのように社会全体を変えようとしているのかについて講じる。											
3. 医療情報の二次利用 (5回): HIS等に蓄えられた情報が、どのように臨床活動・医学教育・医学教育に役立てられているのかについて講じる。											
福祉情報学概論 (2回): 情報技術のリハビリテーションや福祉分野への応用について、事例を中心に講じる。											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
講義に関するレポートにより評価する。講じた内容に関する包括的理解度と、社会情報学的視点で自ら考えて議論を組み立てているか否かを、具体的評価基準とする。											
〔教科書〕											
講義資料は、講義ホームページ、および、講義時間中に適宜提供する。											
〔参考書等〕											
現代電子情報通信選書「知識の森」医療情報システム (オーム社)											
〔授業外学修(予習・復習)等〕											
講義前に配布される資料を読み込み、そこに現れる用語などについて予めインターネットなどで調査を行うとともに、講義後にも得られた知識を元に、改めて様々な記事などに目を通して考える作業を行うことが求められる。レポート作成時には、充分考えた内容を元に、与えられた課題に対して、自らの考えを記すことを求める。											
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕											
講義に関する質問等は、メール (medinfoq@kuhp.kyoto-u.ac.jp) にて受け付ける。											